

平成 29年 5月 30日

守谷市議会議長 殿

報告者： 神宮 栄二

守谷市議会・守谷市合同 視察・研修報告

標記の件について、次のとおり 実施 ・ 参加 したので報告します。

視察・研修日	平成29年 5月 22日 (月)
視察・研修場所	沼津市役所・沼津市議会、沼津港
視察・研修項目	沼津市のリノベーションまちづくり
参加者	守谷市側 守谷市議会議長・市川副議長・議員全員20名、事務局2名 松丸市長、坂経済部長
	相手側 沼津市議会：浅原議長、事務局：小山係長 まちづくり政策課：八木補佐、内村係長、臼井主任
視察・研修目的	空家・空きビル等民間遊休不動産や低下した公共施設の活用を民間との連携でおこなう「沼津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」の総合戦略の推進及び実施展開について先駆的な取組を行っている沼津市を視察・研修する。
視察・研修内容	沼津市都市計画部よりリノベーションまちづくりと公民連携推進事業の施策の実施・展開について講義をいただいた。
視察・研修総括 (今後の取組み等)	守谷市でも、人口減少・高齢者増加の問題は近々に迫っており、空家や空き商業施設の増加も目立ち始めています。それらの利活用について、沼津市の取組「リノベーションまちづくり」を参考に公民連携の事業推進を進めていくべきではないかと思えます。東口1.2ha やみずき野地区で購入したエクセル跡地等の事業展開に活かせば今回の視察・研修の効果となります。

視察・研修内容

5月22日午後1時30分より、沼津市議会を訪問。
浅原市議会議長の歓迎の挨拶を受け、梅木議長より視察・研修の受入れのお礼の挨拶を行った。

都市計画部まちづくり政策課より、人口減少や空家・空ビルのまちづくりの課題についての現状分析があり、時代の局面がかわつたと判断し、公民連携によるまちづくりリノベーションを推進施策と考え、地方創生交付金を原資として平成27年から取り組んでいると説明があった。

又、遊休不動産活用によるまち再生手法を実践を通して学ぶ「まちづくりの短期集中スクール、リノベーションスクール」を3回開催し2回が事業化の方向へ進んでおり、まちづくりファクトの創設は地域住民交流拠点整備等へ活かされ始めています。

平成29年3月に運営を終了した公共施設（少年自然の家）の再活用についても公民連携で民間の事業者のアイデアを活かした再活用プランが進行しており、他の未活用公共施設の公共空間の利活用促進に繋げて実証実験を行っている。

人口減少・空家率が全国平均を上回る負の局面を民間との連携により、積極的なまちづくりリノベーションへと展開し始めた沼津市は将来の守谷市のまちづくりの参考になる内容であった。

最後に市川副議長が謝礼の挨拶を行い、議場見学の後、沼津市役所を辞去した。

その後、議会事務局の案内で、津波対策として建設された大型展望水門「びゅうお」を見学させていただいた。